

## 会議要録

|             |                                                                                                                                                                        |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称       | 令和５年度 第２回和光市文化財保護委員会                                                                                                                                                   |
| 日 時         | 令和５年８月７日（月）１０：００～１１：３０                                                                                                                                                 |
| 場 所         | 和光市役所 ５階 ５０３会議室                                                                                                                                                        |
| 出席者<br>※敬称略 | <p>【文化財保護委員】委員１０名が出席<br/>田中明、並木實、田中茂、森 朋久、鈴木敏弘、大平秀和、岩田昌之、保科裕、白井和広、網代雅代</p> <p>【事務局】<br/>[教育委員会] 石川教育長、寄口教育部長<br/>[生涯学習課] 亀井次長、山本課長補佐兼文化財保護担当統括主査、文化財保護担当 中岡主査、鈴木主任</p> |
| 傍 聴 者       | ０名                                                                                                                                                                     |

### １ 開会

### ２ 委員委嘱式

石川教育長から各委員に委嘱書を交付。

### ３ 教育長あいさつ

教育長の石川でございます。本日はお暑い中、またご多用の中にもかかわらず、和光市文化財保護委員会にお集まりいただき誠にありがとうございます。

先日、佐賀県吉野ケ里遺跡で、弥生時代後期の有力者の墓の可能性がある、石棺墓が見つかったという報道がありました。大きなニュースとして取り上げられており、文化財への関心の高さを実感いたしました。吉野ケ里遺跡は和光市の午王山遺跡と同じ弥生時代の環濠集落でもありますので、今後どのような発見がされるのか、続報が待たれます。

さて、和光市文化財保護委員会は和光市の貴重な文化財等を後世に残すうえで大切な審議会です。これまでも様々な市の指定文化財の指定について諮問させていただき、答申をいただきました。また、文化財全般にわたり、その保護と活用についても様々な意見をいただいてまいりましたところです。

本日は令和５年度第２回和光市文化財保護委員会となります。今回から新たに３名の委員の方に加わっていただくことになりました。委員の皆様におかれましては、どうぞ忌憚なくご意見をいただきますようお願いいたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

### ４ 自己紹介

各委員及び事務局による自己紹介。

## ○事務局より説明・報告

１ 市民参加条例第１２条第４項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開に

ついて説明。

2 配布資料について説明。

3 資料「文化財保護委員会と生涯学習課文化財保護担当の役割」について説明。

## 5 議題（協議・報告）

### （1）委員長・副委員長の選出について

立候補を募るが、立候補者がいないので、事務局案を提示。

→地域の歴史・民俗に精通し、これまでの経験と実績を考慮し、田中明委員を委員長に推薦。出席委員から了承いただき、委員長に選出。

副委員長についても、立候補者がいないので、事務局案により田中委員長にご指名いただく。

→田中委員長より、これまでの文化財保護委員としての経歴から副委員長に鈴木敏弘委員を推薦。出席委員から了承をいただき、副委員長に選出。

田中委員長あいさつ。

鈴木副委員長あいさつ。

以降の議事進行については、和光市文化財保護委員会規則第5条に基づき、田中委員長が行う。

### （2）和光市人権教育推進協議会会員及び理事の選出について

#### ○委員長

それでは議題に沿って進めます。「議題（2）和光市人権教育推進協議会会員及び理事の選出」について、事務局から説明願いたい。

#### ○事務局

和光市人権教育推進協議会会員及び理事の選出について、概要を説明。

立候補を募るが、立候補者がいないので事務局案提示。

→引き続き並木委員に委任することを並木委員並びに委員一同から了承いただき、和光市人権教育推進協議会会員及び理事に選出。

### （3）令和5年度文化財保護事業中間報告

#### ○委員長

「議題（3）令和5年度文化財事業中間報告」について、事務局より説明願いたい。

#### ○事務局

令和5年度文化財事業中間報告について資料に基づいて説明。（資料1参照）

#### ○委員長

事務局の報告について、質問やご意見などはあるか。

今回の展示会や講座について、広報はどのようにしているか。

○事務局

広報わこうや、ホームページに掲載している他、作成したチラシやポスターで周知している。

○委員長

承知した。他にご意見等あるか。→【委員一同】特になし。

#### (4) 市内三基の富士塚の文化財指定について

○委員長

「議題（４）市内三基の富士塚の文化財指定」について、事務局より説明願いたい。

○事務局

市内三基の富士塚について、これまで文化財保護委員会で長く検討してきた。この度、富士塚３基の調査報告書が完成したことに伴い、平成 29 年度に和光市文化財保護委員会の中に設置した「富士塚専門部会」を開催し、森委員、並木委員、矢崎委員の３名にご参加いただき内容を確認いただいた上で、専門部会としての答申案の作成を行っていただいた。また、部会の意見として、意見書をご提出いただいた（資料 2 参照）。委員の皆様には、富士塚専門部会の皆様と作成した答申案をご確認いただきたい（資料 3 参照）。

なお、各富士塚の所有者様に市指定文化財についてご説明に伺い、「市指定文化財指定同意書」をご提出いただいたことも併せて報告する。

○委員長

富士塚専門部会に参加していただいた森委員からご説明をいただきたい。

○森委員

この度の富士塚３基については、『和光市文化財調査報告書 和光市の富士塚』として調査成果がまとめられた。その調査において石造物の調査等も行われたことで、富士塚そのものの存在だけでなく、３基ともその由緒が明らかになったものと思う。

白子熊野神社は大きくて目立っているため、当初から文化財指定については一般的にも理解が得られやすかったと思うが、それに加えて下新倉氷川八幡神社の富士塚と浅久保の富士塚についての由緒は今回の調査報告にまとめられている。浅久保の富士塚については移築されたことが明かとなっているが、その内容もつかめている指定文化財に指定する上で排除すべきものではなく保存しておくことが望ましいものと考えられる。よって、専門部会としては調査報告書の内容と現状を踏まえ、指定すべき文化財であると判断し、その旨を意見書及び答申案としてまとめたところである。ご確認いただき、保護委員会として

ご承認をいただければと思う。

○委員長

ありがとうございます。

それでは、事務局と森委員から説明いただいた富士塚の答申案について、ご意見などあればご意見をいただきたい。

○岩田委員

文化財として指定することについては問題はないものと思う。その上で確認したいことがある。

答申案に保存と活用とあるが、まず保存については、今どのように管理されていて、今後保存できる体制にあるのかということが1つ。また、活用については、市民に知ってもらうとか、広報などの具体的な計画はあるのか。以上の2点を確認したい。

○鈴木副委員長

浅久保浅間神社の富士塚の管理は誰が行っているのか。駅から近いため、今後開発されて取り壊されてしまうことも可能性としてあるので、現状の管理について教えてほしい。

○並木委員

浅久保浅間神社の富士塚は、下新倉氷川八幡神社が所有者となっているが、管理は地元の方々が行っている。

○鈴木副委員長

現状変更の可能性は低いということだろうか。

○並木委員

所有者は神社ということであるため、そのように考えて差し支えないのではないか。

○事務局

今並木委員からもお話があったとおり、浅久保浅間神社の富士塚について下新倉氷川八幡神社が所有者となっているが、日常的なお掃除等の管理は地域の方が行っている。その方々にも、指定文化財にするにあたりその内容をご説明にお伺いし、計画変更等の制限があることをお伝えしている。

また、先程岩田委員からのご質問いただいた「活用」については、子ども大学や市民大学等生涯学習の場で活用したいと考えている。その他、広報わこう等を活用して周知を図りたい。

○岩田委員

3基まとめて指定するのか、また、正式名称はどうなるのか。

○事務局

1基ずつ指定する。指定名称は、「下新倉氷川八幡神社富士塚」、「白子熊野神社富士塚」、「浅久保浅間神社富士塚」となる。なお、この名称についても事前に所有者に確認いただいている。

○並木委員

富士塚が毀損している場合などに修理や整備を行うとした場合、それにはお金がかかる。市として補助を行うことは可能か。

○鈴木副委員長

例えば熊野神社富士塚の場合は東側が不安定に思われる。指定に至れば保存の在り方について市と所有者で協議してく必要があると思うので、課題については両者でよく協議をしてもらいたい。

○事務局

市の文化財として適切な保存・活用をしていけるように所有者らと協議していきたい。市指定文化財は文化財保護条例に基づき補助金交付が可能なので、仮に整備等に費用がかかる場合は、予算措置するなど適切な保護を図りたい。

○岩田委員

白子熊野神社の富士塚は、つつじの山としてもよく知られていて、一般の方からすれば富士塚という認識があまりないと感じる。富士塚というと通常は草を刈って、石造物が見えるようにきれいに整備していくことが多いが、市指定文化財として保護していくにあたり、つつじの山を生かすのか、市指定文化財として違った形で整備していくのか考えを聞きたい。

○事務局

本来であれば富士塚本来の姿を保護していくべきかと思うが、熊野神社のつつじについては、つつじまつりが行われるなど、地域の皆様から親しまれているものでもある。一方で富士開きなども行われているので、現時点としては両方の良さを活かしていければ良いと思っている。

○委員長

下新倉の富士塚は道路の関係で随分と小さくなってしまった。白子の富士塚は立派で、

あのあたりの人にお話を聞くと、「小さい頃登って遊んだ」とか、「自分の父がつつじを一生懸命植えたんだ」という話も聞いた。また、ぜひ大切に保存して、地域に貢献できるような富士塚にしてほしいという話もいただいているので、地域にとって一番良い形で保存していけるようによろしくお願いいたします。地域でも氏子をはじめ、自治会などでも草刈りをしているので、みんなで守っていければと思う。

他にご意見がなければ、専門部会で作成した案を文化財保護委員の答申としてよろしいか。→【委員一同了承】

それではこの案を文化財保護委員会の総意として教育長に答申する。

#### ～委員長から教育長に答申を提出～

##### ○委員長

それでは、今後の流れについて事務局からご説明いただきたい。

##### ○事務局

今後の流れとしましては、皆様にご了承いただいた答申を定例教育委員会において審議していただく。教育委員会の議決を得られた後、告示をし、市指定文化財に指定される予定である。

#### (5) その他

##### ○委員長

協議・報告の「その他」について、委員の皆様や事務局より何かあればお願いしたい。

##### ○事務局

市指定文化財の白子囃子が全9回の体験講座を開催する予定である。篠笛・太鼓・鉦、踊りを練習し、11月の市民まつりで披露するという内容になっている。応募は8月1日からとなっていますので、ご興味のある方にぜひ御周知いただきたい。

また、今月の広報わこうにも掲載されているとおり、9月9日（土）中央公民館で「ささら獅子舞のおはなし」という講座が開催される。この件については白井委員に補足をお願いしたい。

##### ○白井委員

中央公民館で「ささら獅子舞のおはなし」という講座が開催され、私に対応予定である。また、白子小学校の教頭先生から依頼があり、白子小学校でも講座をすることになったのでご報告したい。

○岩田委員

先週埼玉県文化財講習会に参加させていただいた。今回のテーマが「災害に学ぶー関東大震災から100年を迎えてー」ということで、主に水害の被害への対応についての発表だった。

和光市でも想定外の洪水などの影響が懸念される文化財はないか、また、収蔵庫で雨漏りはしていないかなどのチェックを今一度する必要があると講習会に参加して感じたのでこの場でお伝えしたい。

○鈴木副委員長

以前にもお話したが、和光市には博物館がない。中国では各自治体の顔として博物館が位置付けられている。出土品を常時展示できる文化財の施設がやはり必要を考えている。ぜひ検討していただきたい。

○保科委員

私がかかわっている下仁田では、廃校を利用して展示を行っており、行政もバックアップしてくれている。かつて使っていた学校の机などを利用すると、来場者はなつかしさを感じてくれるようである。費用の面で新設の博物館が難しいのであれば、既存施設を利用するのも一つの方法である。

○岩田委員

計画には短期・中期・長期計画がある。長期計画として展示管理とか展示スペースを何年もかけて作るというものを方針として掲げ、その中で既存施設の再利用を含めて考えていくことが望ましいのではないかと。このことをご提案したい。

○鈴木副委員

博物館とは別件だが、午王山の南側の崖について、毀損・劣化していかないようにするための対策が必要ではないか。

○森委員

午王山の急な崖となっている箇所は自然地形か、それとも後世の造成による人工的なものか。

○事務局

午王山の南側はかつての土取り工事で掘削されたものである。

午王山遺跡については、「保存活用計画」の中でガイダンス施設の設置についての計画を盛り込んでいる。また、斜面地の安全対策についても計画の中に盛り込んでいるので、公有地化したところから徐々に対策をしていきたいと考えている。

○委員長

以前、ある方から旧保健センターを博物館にしたかどうかという話をいただいていたことがある。しかし、新型コロナウイルスが蔓延して、接種会場として随分活用されたため状況も変わっている。いずれにしても、後世に残すことが必要なものは適切に保存しなければならない、市民の目に触れられることも必要である。既存施設の再利用を含め検討していくべきものである。

○鈴木副委員長

市民の目に触れる機会が必要である。触れる機会がなければ、大切にしようという気持ちも生まれにくい。

○白井委員

中央公民館でささら獅子舞が20年間展示されている。先人たちがつないできたものなのでぜひ後世に残していきたい。

○委員長

ありがとうございました。他に協議がないようでしたら、これで協議課題として挙げられた事項の審議は終了といたします。皆様貴重なご意見をありがとうございました。

## 6 閉会